

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	遺伝学				
回答者数	4 名				
履修者数	37 名				
			回答率	11%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (50%)	2 (50%)	0	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3 (75%)	1 (25%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	看護研究法				
回答者数	6 名				
履修者数	86 名				
				回答率	7%

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (33%)	3 (50%)	0	1 (17%)	0	4.0
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0	0	4.3
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (50%)	3 (50%)	0	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (50%)	3 (50%)	0	0	0	4.5

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (50%)	2 (33%)	1 (17%)	0	0	4.3
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	3 (50%)	1 (17%)	1 (17%)	1 (17%)	0	4.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	成人看護学援助論Ⅰ(慢性期・緩和ケア)				
回答者数	22	名			
履修者数	83	名	回答率	27%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	17 (77%)	5 (23%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	17 (77%)	4 (18%)	1 (5%)	0	0	4.7
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	17 (77%)	4 (18%)	1 (5%)	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	18 (82%)	4 (18%)	0	0	0	4.8
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	17 (77%)	5 (23%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	16 (73%)	5 (23%)	1 (5%)	0	0	4.7

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	15 (68%)	5 (23%)	2 (9%)	0	0	4.6
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	15 (68%)	5 (23%)	2 (9%)	0	0	4.6
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	15 (68%)	6 (27%)	1 (5%)	0	0	4.6
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	17 (77%)	5 (23%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	17 (77%)	4 (18%)	1 (5%)	0	0	4.7
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	17 (77%)	4 (18%)	1 (5%)	0	0	4.7

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	成人看護学援助論Ⅱ(急性期)				
回答者数	24	名			
履修者数	83	名	回答率	29%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	21 (88%)	3 (13%)	0	0	0	4.9
2	授業内容は理解できるものであった。	15 (63%)	8 (33%)	1 (4%)	0	0	4.6
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	16 (67%)	7 (29%)	1 (4%)	0	0	4.6
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	18 (75%)	6 (25%)	0	0	0	4.8
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	18 (75%)	6 (25%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	16 (67%)	7 (29%)	1 (4%)	0	0	4.6

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	15 (63%)	9 (38%)	0	0	0	4.6
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	13 (54%)	10 (42%)	1 (4%)	0	0	4.5
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	14 (58%)	9 (38%)	1 (4%)	0	0	4.5
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	16 (67%)	8 (33%)	0	0	0	4.7
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (67%)	7 (29%)	1 (4%)	0	0	4.6
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	17 (71%)	6 (25%)	1 (4%)	0	0	4.7

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	老年看護学援助論				
回答者数	9 名				
履修者数	81 名				
				回答率	11%

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
2	授業内容は理解できるものであった。	3 (33%)	3 (33%)	2 (22%)	1 (11%)	0	3.9
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (33%)	4 (44%)	2 (22%)	0	0	4.1
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	5 (56%)	2 (22%)	2 (22%)	0	0	4.3
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	2 (22%)	5 (56%)	2 (22%)	0	0	4.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (33%)	3 (33%)	2 (22%)	1 (11%)	0	3.9

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (44%)	4 (44%)	0	1 (11%)	0	4.2
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3 (33%)	5 (56%)	1 (11%)	0	0	4.2
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (44%)	3 (33%)	2 (22%)	0	0	4.2
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (56%)	4 (44%)	0	0	0	4.6
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (67%)	3 (33%)	0	0	0	4.7
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (44%)	4 (44%)	1 (11%)	0	0	4.3

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	こども看護学援助論				
回答者数	11	名			
履修者数	81	名	回答率	14%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	6 (55%)	5 (45%)	0	0	0	4.5
2	授業内容は理解できるものであった。	3 (27%)	6 (55%)	2 (18%)	0	0	4.1
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (45%)	5 (45%)	0	1 (9%)	0	4.3
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	7 (64%)	3 (27%)	0	1 (9%)	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (45%)	6 (55%)	0	0	0	4.5
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (27%)	6 (55%)	2 (18%)	0	0	4.1

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (36%)	5 (45%)	2 (18%)	0	0	4.2
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (45%)	3 (27%)	3 (27%)	0	0	4.2
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (45%)	4 (36%)	2 (18%)	0	0	4.3
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	6 (55%)	4 (36%)	1 (9%)	0	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	3 (27%)	4 (36%)	3 (27%)	1 (9%)	0	3.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (45%)	5 (45%)	1 (9%)	0	0	4.4

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	母性看護学援助論				
回答者数	12 名				
履修者数	82 名				
回答率				15%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
2	授業内容は理解できるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
6	授業内容は満足のできるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	精神看護学援助論				
回答者数	6 名				
履修者数	85 名				
回答率				7%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	4 (67%)	1 (17%)	1 (17%)	0	0	4.5
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7
6	授業内容は満足のできるものであった。	4 (67%)	2 (33%)	0	0	0	4.7

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	5 (83%)	0	1 (17%)	0	0	4.7
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5 (83%)	1 (17%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	保健統計学				
回答者数	5 名				
履修者数	48 名				
回答率				10%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	3 (60%)	2 (40%)	0	0	0	4.6
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	3 (60%)	2 (40%)	0	0	0	4.6
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	3 (60%)	2 (40%)	0	0	0	4.6
6	授業内容は満足のできるものであった。	3 (60%)	2 (40%)	0	0	0	4.6

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4 (80%)	1 (20%)	0	0	0	4.8

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	家族看護論				
回答者数	34	名			
履修者数	81	名	回答率	42%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	29 (85%)	5 (15%)	0	0	0	4.9
2	授業内容は理解できるものであった。	27 (79%)	6 (18%)	1 (3%)	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	27 (79%)	7 (21%)	0	0	0	4.8
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	26 (76%)	7 (21%)	1 (3%)	0	0	4.7
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	27 (79%)	7 (21%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	26 (76%)	8 (24%)	0	0	0	4.8

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	23 (68%)	8 (24%)	3 (9%)	0	0	4.6
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	24 (71%)	7 (21%)	2 (6%)	1 (3%)	0	4.6
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	23 (68%)	10 (29%)	1 (3%)	0	0	4.6
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	29 (85%)	4 (12%)	1 (3%)	0	0	4.8
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	26 (76%)	7 (21%)	1 (3%)	0	0	4.7
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	25 (74%)	6 (18%)	2 (6%)	1 (3%)	0	4.6

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	公衆衛生看護学概論				
回答者数	10 名				
履修者数	91 名				
				回答率	11%

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	9 (90%)	1 (10%)	0	0	0	4.9
2	授業内容は理解できるものであった。	8 (80%)	2 (20%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	5 (50%)	5 (50%)	0	0	0	4.5
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	7 (70%)	2 (20%)	1 (10%)	0	0	4.6
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	9 (90%)	1 (10%)	0	0	0	4.9
6	授業内容は満足のできるものであった。	7 (70%)	3 (30%)	0	0	0	4.7

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	6 (60%)	3 (30%)	1 (10%)	0	0	4.5
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	8 (80%)	2 (20%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	7 (70%)	3 (30%)	0	0	0	4.7
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	7 (70%)	2 (20%)	0	1 (10%)	0	4.5
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	8 (80%)	2 (20%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	6 (60%)	3 (30%)	1 (10%)	0	0	4.5

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	成人看護学実習Ⅰ				
回答者数	16 名				
履修者数	80 名				
				回答率	20%

Ⅰ. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	14 (88%)	2 (13%)	0	0	0	4.9
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
3	実習内容は満足のできるものであった。	11 (69%)	5 (31%)	0	0	0	4.7

Ⅱ. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	9 (56%)	6 (38%)	1 (6%)	0	0	4.5
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	13 (81%)	2 (13%)	1 (6%)	0	0	4.8
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	12 (75%)	4 (25%)	0	0	0	4.8
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	13 (81%)	3 (19%)	0	0	0	4.8

Ⅲ. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	15 (94%)	1 (6%)	0	0	0	4.9
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	16 (100%)	0	0	0	0	5.0
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	16 (100%)	0	0	0	0	5.0
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	15 (94%)	1 (6%)	0	0	0	4.9

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	成人看護学実習Ⅱ				
回答者数	20 名				
履修者数	81 名				
				回答率	25%

I. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	15 (75%)	4 (20%)	1 (5%)	0	0	4.7
3	実習内容は満足のできるものであった。	16 (80%)	3 (15%)	0	1 (5%)	0	4.7

II. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	14 (70%)	6 (30%)	0	0	0	4.7
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	15 (75%)	5 (25%)	0	0	0	4.8
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)	0	0	4.8
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (80%)	2 (10%)	1 (5%)	1 (5%)	0	4.7
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	16 (80%)	2 (10%)	1 (5%)	1 (5%)	0	4.7
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	15 (75%)	3 (15%)	1 (5%)	1 (5%)	0	4.6

III. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	17 (85%)	2 (10%)	0	1 (5%)	0	4.8
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	17 (85%)	2 (10%)	1 (5%)	0	0	4.8
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	16 (80%)	3 (15%)	1 (5%)	0	0	4.8

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	老年看護学実習				
回答者数	12 名				
履修者数	85 名				
				回答率	14%

I. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	9 (75%)	2 (17%)	1 (8%)	0	0	4.7
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	7 (58%)	4 (33%)	0	1 (8%)	0	4.4
3	実習内容は満足のできるものであった。	6 (50%)	3 (25%)	2 (17%)	1 (8%)	0	4.2

II. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	8 (67%)	4 (33%)	0	0	0	4.7
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	8 (67%)	3 (25%)	1 (8%)	0	0	4.6
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	8 (67%)	2 (17%)	1 (8%)	0	1 (8%)	4.3
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	8 (67%)	2 (17%)	1 (8%)	1 (8%)	0	4.4
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	7 (58%)	2 (17%)	2 (17%)	0	1 (8%)	4.2
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	6 (50%)	2 (17%)	2 (17%)	1 (8%)	1 (8%)	3.9

III. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	5 (42%)	4 (33%)	2 (17%)	1 (8%)	0	4.1
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	7 (58%)	2 (17%)	3 (25%)	0	0	4.3
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	7 (58%)	2 (17%)	1 (8%)	1 (8%)	1 (8%)	4.1
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	7 (58%)	3 (25%)	1 (8%)	0	1 (8%)	4.2

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	こども看護学実習				
回答者数	13	名			
履修者数	79	名	回答率	16%	

I. 実習内容

	5	4	3	2	1	平均
1 自主性をもって実習することができる実習であった。	9 (69%)	3 (23%)	1 (8%)	0	0	4.6
2 実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	5 (38%)	7 (54%)	1 (8%)	0	0	4.3
3 実習内容は満足のできるものであった。	4 (31%)	7 (54%)	2 (15%)	0	0	4.2

II. 実習方法

	5	4	3	2	1	平均
4 実習要項に沿って実習が進められた。	6 (46%)	6 (46%)	1 (8%)	0	0	4.4
5 実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	8 (62%)	3 (23%)	2 (15%)	0	0	4.5
6 専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	3 (23%)	9 (69%)	1 (8%)	0	0	4.2
7 教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	6 (46%)	5 (38%)	2 (15%)	0	0	4.3
8 教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	5 (38%)	7 (54%)	1 (8%)	0	0	4.3
9 教員と実習施設の連携が図られていた。	4 (31%)	9 (69%)	0	0	0	4.3

III. 実習施設

	5	4	3	2	1	平均
10 実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	8 (62%)	5 (38%)	0	0	0	4.6
11 実習施設は学習目標や方法を理解していた。	8 (62%)	5 (38%)	0	0	0	4.6
12 実習施設は学生の安全に配慮していた。	9 (69%)	4 (31%)	0	0	0	4.7
13 実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	7 (54%)	5 (38%)	1 (8%)	0	0	4.5

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	母性看護学実習				
回答者数	29 名				
履修者数	82 名				
				回答率	35%

I. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	26 (90%)	3 (10%)	0	0	0	4.9
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	25 (86%)	2 (7%)	2 (7%)	0	0	4.8
3	実習内容は満足のできるものであった。	26 (90%)	2 (7%)	1 (3%)	0	0	4.9

II. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	26 (90%)	2 (7%)	1 (3%)	0	0	4.9
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	27 (93%)	2 (7%)	0	0	0	4.9
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	26 (90%)	3 (10%)	0	0	0	4.9

III. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	25 (86%)	4 (14%)	0	0	0	4.9
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	24 (83%)	5 (17%)	0	0	0	4.8
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	28 (97%)	1 (3%)	0	0	0	5.0

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	精神看護学実習				
回答者数	12 名				
履修者数	85 名				
				回答率	14%

I. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
3	実習内容は満足のできるものであった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8

II. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	9 (75%)	3 (25%)	0	0	0	4.8

III. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	9 (75%)	2 (17%)	1 (8%)	0	0	4.7
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	10 (83%)	1 (8%)	1 (8%)	0	0	4.8
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	11 (92%)	1 (8%)	0	0	0	4.9
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	10 (83%)	2 (17%)	0	0	0	4.8

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	包括ケア実習				
回答者数	7 名				
履修者数	81 名				
				回答率	9%

I. 実習内容

		5	4	3	2	1	平均
1	自主性をもって実習することができる実習であった。	7 (100%)	0	0	0	0	5.0
2	実習の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
3	実習内容は満足のできるものであった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9

II. 実習方法

		5	4	3	2	1	平均
4	実習要項に沿って実習が進められた。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.6
5	実習オリエンテーションは学習を進める上で助けになった。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
6	専門的な知識や技術の取得のために教員から十分な支援があった。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
7	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7
8	教員からの助言や指導は学習を進める上で役立った。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
9	教員と実習施設の連携が図られていた。	4 (57%)	2 (29%)	0	1 (14%)	0	4.3

III. 実習施設

		5	4	3	2	1	平均
10	実習施設の指導者から適切な指導・援助を受けることができた。	4 (57%)	3 (43%)	0	0	0	4.9
11	実習施設は学習目標や方法を理解していた。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
12	実習施設は学生の安全に配慮していた。	6 (86%)	1 (14%)	0	0	0	4.9
13	実習施設は学習目標を達成するために十分な設備が整えられていた。	5 (71%)	2 (29%)	0	0	0	4.7

- 5. そう思う
- 4. だいたいそう思う
- 3. どちらともいえない
- 2. あまり思わない
- 1. 全く思わない

科目名	在宅看護援助論Ⅱ（事例展開）				
回答者数	6 名				
履修者数	82 名				
				回答率	7%

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2
2	授業内容は理解できるものであった。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	1 (17%)	3 (50%)	2 (33%)	0	0	3.8
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2
6	授業内容は満足のできるものであった。	1 (17%)	3 (50%)	2 (33%)	0	0	3.8

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	1 (17%)	3 (50%)	2 (33%)	0	0	3.8
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	1 (17%)	4 (67%)	1 (17%)	0	0	4.0
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	1 (17%)	4 (67%)	1 (17%)	0	0	4.0
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	1 (17%)	4 (67%)	1 (17%)	0	0	4.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	2 (33%)	3 (50%)	1 (17%)	0	0	4.2
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	1 (17%)	4 (67%)	1 (17%)	0	0	4.0

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	公衆衛生看護活動論				
回答者数	20	名			
履修者数	20	名	回答率	100%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	19 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0
2	授業内容は理解できるものであった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	20 (100%)	0	0	0	0	5.0
6	授業内容は満足のできるものであった。	19 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0

II. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	18 (90%)	2 (10%)	0	0	0	4.9
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	19 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	19 (95%)	1 (5%)	0	0	0	5.0
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	20 (100%)	0	0	0	0	5.0

5. そう思う
4. だいたいそう思う
3. どちらともいえない
2. あまり思わない
1. 全く思わない

科目名	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ				
回答者数	20	名			
履修者数	20	名	回答率	100%	

I. 授業内容について

		5	4	3	2	1	平均
1	シラバスに沿って、授業が進められた。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
2	授業内容は理解できるものであった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
3	授業内容は興味や関心が持てるものであった。	14 (70%)	6 (30%)	0	0	0	4.7
4	自主性をもって学習することができる内容であった。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
5	授業の構成や内容は科目の到達目標を達成できるものであった。	17 (85%)	3 (15%)	0	0	0	4.8
6	授業内容は満足のできるものであった。	14 (70%)	6 (30%)	0	0	0	4.7

Ⅱ. 授業方法について

		5	4	3	2	1	平均
7	教員の話す速度や声量は適切であった。	15 (75%)	4 (20%)	1 (5%)	0	0	4.7
8	専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	15 (75%)	5 (25%)	0	0	0	4.8
9	教科書や資料、視聴覚教材の使用が適切であった。	15 (75%)	4 (20%)	1 (5%)	0	0	4.7
10	授業の環境(場所・設備など)は適切であった。	14 (70%)	4 (20%)	2 (10%)	0	0	4.6
11	教員は質問の機会・方法を設定し質問に適切に回答した。	16 (80%)	4 (20%)	0	0	0	4.8
12	学生が授業に集中できるように教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	15 (75%)	3 (15%)	2 (10%)	0	0	4.7